

「退職に際して」

平成19年2月7日

本田氏には、技術談話会当日の講演は予定されていませんでしたが、技術部職員が一堂に会した折角の機会でもあり、一言挨拶をしたいという意向を示され、即興での講演となった。タイトルは、研修委員の1人がその場で付けさせていただいたものである。

本田氏の挨拶は、国際情勢に始まり、現状分析や今後の展開についての個人的な見通しを淡々と語られ、氏が高い関心をもって動勢をみているということを顕著に示すものであった。

最近のご自分の体調にも触れ、様々な検査や治療の経験談を詳細に話され、同期の方々にも退職を前にして、身体的な不調が起きている状況をも紹介し、体調管理の大切さを強調された。

氏が長年培った技術の一端として、所属研究室の研究技術で関わってきた経歴の概略を以下に提示させていただくことにする。

研究室所属経歴等の概要

機械技術室 本田 健蔵

石田研究室（昭和40年4月～）

- ・歯車の検査：一對（大小2個）の歯車が設計書（図面）通りに作られているかを調べる
- ・三針法によるネジの有効径の測定
- ・空気マイクロメータによる流量測定（倍率：10,000倍）
- ・偏心歯車の設計・製作とその応用
- ・ボルトの衝撃強さ
- ・ニューマテックリフトの開発

三留研究室（昭和51年4月～）

- ・歯車の解析：設計書のない歯車の諸元を0から調べ上げる
- ・低騒音の歯車ポンプの開発
- ・ホブ盤の改良
- ・楕円切削装置「エリプス」の設計（製作は企業に依頼）

佐藤研究室（昭和52年4月～）

- ・サンドイッチ梁の振動解析
- ・片持ち梁の振動解析

八木田研究室（平成2年4月～）

- ・低速風洞の設計製作
- ・スタッドレスタイヤの改良

大町研究室（平成17年4月～）

- ・歯車の歯面強度試験
- ・歯車の歯当たり試験